

レイノルズ先生の鞆の中身を検証

長年、レイノルズ先生は、チョコレートとは切っても切れない仲と言っていいほど、甘いものを毎日欠かさず口にされているようです。CLトレーニング、インストラクター研修、講演会、勉強会、ワークショップに参加したことのある人はご存じでしょう。コーヒ一杯にシュガースティックを5本とか、ティースプーン山盛り5杯入れたり、アイスコーヒーに他の人の分までシロップを入れてしまったこともありました。研修中のブレイクタイムには、参加者に鞆の中からチョコレートやクッキー、キャンデーを出してすすめます。実は一番食べたいのは先生で、講義したごほうびとか疲労回復のためと理由はいろいろ伺いますが、CL法則にある通り、「行動の理由、動機づけはだれにもわからない」とある通り、その場の口から出まかせです。目的は他の人へのサービスという内観的で聞こえがいいのですが、臆することなく堂々と口に入れる大義名分のためにいっしょに食する仲間をつくります。

参加者が多い会はもとより個人セッションのときでも10kg以上の重い鞆を運んできます。ある日、何が入っているのか興味があったので見せてもらうことにしました。外出のときは、一日中晴れの予報でも傘を必ず鞆の中に入れて聞きました。本がたくさん入っているのかもしれませんが、ところが、実際に開けて見せてもらうと、この写真のとおり、左からチョコレート、わからないお砂糖の塊の菓子、ジェリビーン、クッキーとお菓子のジャーが鞆の中を占めていました。ガラス瓶とお菓子の重量だったのです。甘いもの人生の証拠写真です。

日本滞在中、電車で旅をされ、登山をするときも欠かせないことでしょう。でも、体重は若いときから変わらないと自慢されます。何はともあれ、私たちが先生の貴重な意味深い講義を伺えるのは、甘いもののサポートあつてこそです。チョコレートさん、キャンディさん、クッキーさん、シュガーさん長年本当にありがとうございます。（CL教育研究会）

